

平成 30 年 11 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のピックアップ》

- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- 伝染性紅斑の報告数が多い状態が続いています。
- 百日咳の報告が 34 件ありました。

全数把握の対象

【11 月期に報告された全数把握疾患】

細菌性赤痢	3 件	急性脳炎	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	6 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 件
E 型肝炎	2 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	3 件
A 型肝炎	3 件	侵襲性肺炎球菌感染症	4 件
デング熱	4 件	水痘(入院例に限る)	3 件
レジオネラ症	4 件	梅毒	7 件
アメーバ赤痢	4 件	破傷風	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5 件	百日咳	34 件
急性弛緩性麻痺	1 件	風しん	39 件

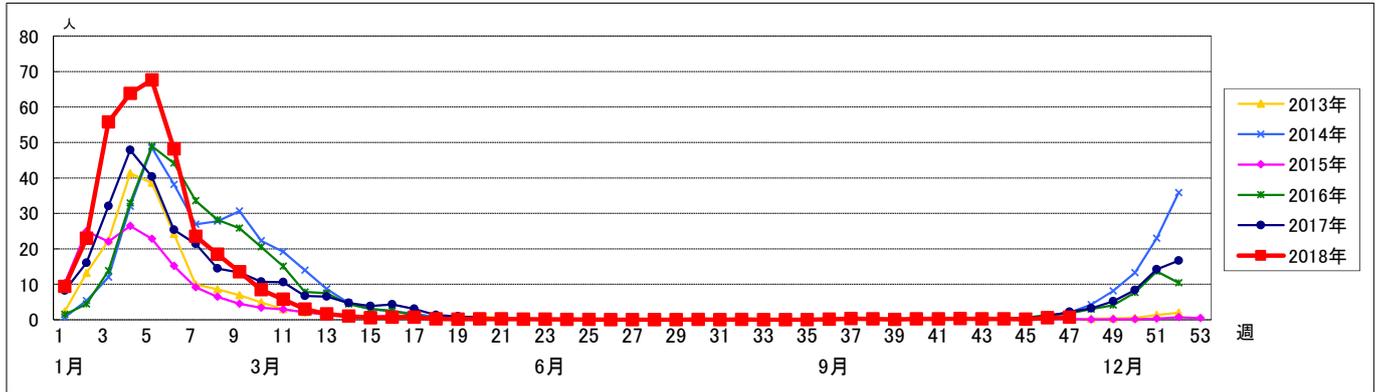
- 1 細菌性赤痢:ハワイでの経口感染と推定される報告(sonnei(D 群))が 2 件、感染経路等不明の報告(flexneli(B 群))が 1 件ありました。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157 の報告が 5 件(うち 1 件が無症状病原体保有者)、O145 の報告が 1 件ありました。
- 3 E型肝炎:経口感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 1 件ありました。
- 4 A 型肝炎:同性間の性的接触と推定される報告が 2 件、経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 5 デング熱: 4 件の報告(感染地域はマレーシア、インド、タイ、ベトナム)がありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が 4 件あり、感染経路等不明です。
- 7 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が 4 件あり、国内での異性間の性的接触が 1 件、カンボディアでの経口感染が 1 件、感染経路等不明が 2 件でした。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:5 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 9 急性弛緩性麻痺: ポリオ含有ワクチン接種 4 回ありの幼児の報告が 1 件ありました。
- 10 急性脳炎: 小児および 70 歳代の報告が 1 件ずつあり、いずれも病原体は VZV でした。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 乳児の報告が 1 件ありました。
- 12 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): AIDS の報告が 1 件(感染経路等不明)、無症状病原体保有者の報告が 2 件(中国での異性間性的接触が 1 件、タイでの同性間性的接触が 1 件)ありました。いずれも男性でした。
- 13 侵襲性肺炎球菌感染症:60 歳代の報告が 2 件(ワクチン接種なし 1 件、不明 1 件)、70 歳代の報告が 2 件(ワクチン接種なし 1 件、不明 1 件)ありました。
- 14 水痘(入院例に限る):10 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種あり)、20 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種不明)、80 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種不明)ありました。
- 15 梅毒:7 件の報告(無症状病原体保有者 3 件、早期顕症梅毒 I 期 2 件、早期顕症梅毒 II 期 2 件)がありました。いずれも感染地域は国内、感染経路は性的接触で、異性間が 4 件、異性間および同性間が 1 件、詳細不明が 2 件でした。男性 4 件、女性 3 件でした。
- 16 破傷風:10 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種あり)ありました。
- 17 百日咳:10 歳未満では乳児が 5 件(ワクチン接種あり 1 件、なし 4 件)、小児が 15 件(ワクチン接種あり 13 件、不明 2 件)の報告があり、10 歳代で 10 件(ワクチン接種あり 7 件、不明 3 件)、20 歳代で 1 件(ワクチン接種あり)、30 歳代で 2 件(いずれもワクチン接種不明)、40 歳代で 1 件(ワクチン接種不明)の報告がありました。

18 風しん:検査診断例 36 件、臨床診断例 3 件が報告されています。20 歳代 6 件(ワクチン接種あり 2 件、なし 1 件、不明 3 件)、30 歳代 13 件(いずれもワクチン接種不明)、40 歳代 14 件(ワクチン接種なし 2 件、不明 12 件)、50 歳代 5 件(ワクチン接種なし 1 件、不明 4 件)、60 歳代 1 件(ワクチン接種あり)でした。男性 35 件、女性 4 件でした。

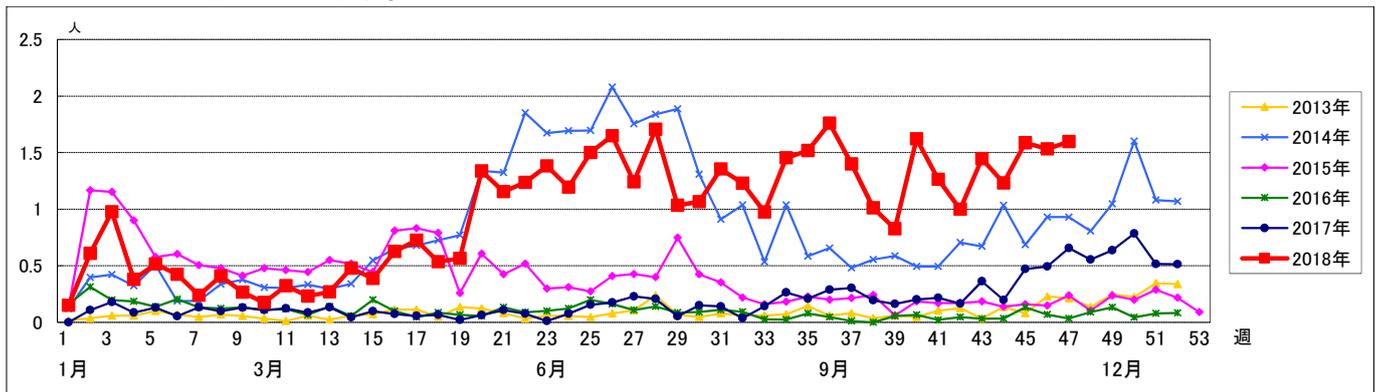
定点把握の対象

平成 30 年 週一月日対照表	
第 44 週	10 月 29 日 ~ 11 月 4 日
第 45 週	11 月 5 日 ~ 11 日
第 46 週	12 日 ~ 18 日
第 47 週	19 日 ~ 25 日

1 インフルエンザ:流行開始の目安となる定点あたり 1.00 は超えていませんが、第 45 週は 0.18、第 46 週は 0.51、第 47 週は 0.73 と増加しています。



2 伝染性紅斑:2017 年第 45 週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第 47 週では定点あたり 1.60 となっています。



3 性感染症:10 月

性器クラミジア感染症	男性:30 件	女性:25 件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 5 件	女性:10 件
尖圭コンジローマ	男性: 5 件	女性: 2 件	淋菌感染症	男性:11 件	女性: 1 件

4 基幹定点週報:

	第 44 週	第 45 週	第 46 週	第 47 週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.33	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.33	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.25	0.33	0.00	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報:10 月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6 件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0 件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>